

ボランティア活動グループの訪問記

ボラマンズ

相模原市聴覚障害者協会
聴覚障害者の生活の向上
社会福祉の増進を図ることを目的に



今月は相模原市聴覚障害者協会会長久保博さんにお話しを伺いました。手話の出来ない私がまず心配したのはどの様な方法での取材が出来るのか。フアックスでお伺いしました。私の不手際もあり少し手間取りましたが、事務局木村さんのお力添えで回帰のメールのやり取りが保つこと近頃けたまひにも感じました。

◆協会の成り立ちは

相模原市に住む聴覚障害者の皆々への福祉の向上と生活の中での差別を解消し幸せな生活が出来るようにするために運動の会体をひらきました。

聴覚障害者は一足先の健康者と同じくならないために、生活の困難さなどが理解されにくいのですが、聴覚障害のためコミュニケーションがとれない、社会生活・人間関係に支障をきたすことが多く、聞ける方たちが当たり前のまじりに得ている情報が入らないこと、生命や財産などに関わることもあります。



会長の久保さん

障害の程度、失聴年齢、生育環境などは会員一人ひとりの異なる、コミュニケーション方法も、手話、筆談、身振りなど様々ですが、生活における問題は共通しています。聞こえない仲間が集まると、お互いの親睦を深めるとともに、聴覚障害者の生活の向上と社会福祉の増進を図ることを目的に活動しています。

◆主な活動は

学習会、講演会、日帰りバス研修旅行、ハイキング等の健康促進に関する活動、交流会、機関紙発行、行政や関係団体との意見交換会

◆会員の皆様の活動の様子は

*相談や研修を行っています
当事者の経験から聴覚障害者としての色々とアドバイスが出来ます。お気軽に相談ください。

*様々な活動を行っています

私たちの会の上部団体と共に聴覚障害者の放課後サービスや訪問サービスなど協力しています。手話を学びたい方、聴覚障害者支援に関心のある仲間ならお問合わせください。

*行政との交渉、関係団体との連携を行っています

共に暮らす社会、住んで良かったと思える街をめざして、行政に要望したり、関係団体と意見交換を行っています。

防災フェアへの出展も、そのひとつです。

皆々のお知恵・知識を私たちの会に頂けると嬉しく思います。

*交流を深めています

仲間が集まることの交流や研修旅行、学習会や講演会など、さまざまなイベントがあります。

久保さんには大変な努力をおかけしましたが読者の皆さんに分かって頂けたなら嬉しい事です。(植野)



*相模原市聴覚障害者協会
相模原市中央区南橋本1-2-21
FAX 042-633-0086
会長 久保博

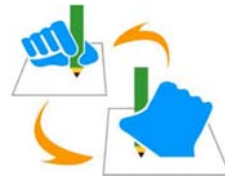
このマークって？

手話マーク



【対象】ろう者等、手話を必要としている人
【意味】ろう者等から提示：
「手話で対応をお願いします」
窓口等で掲示：「手話で対応します」
「手話でコミュニケーションできる人がいます」など。

筆談マーク



【対象者】筆談を必要としている人
(ろう者等、音声言語障害者、知的障害者、外国人なども含みます。)
【意味】当事者から：「筆談で対応をお願いします」
窓口等で：「筆談で対応します」

どちらも ★イベント等の会場で手話が出来る、筆談対応する案内係がネームプレートで携帯することができます。
★緊急災害時の支援者が身に付けるピブスなどに掲示することができます。